

科目名	日本語レベルアップ	国際科	1 年通年
講師	上村 ひとみ	講義	水曜 3 限
実務経験のある教員 等による指導		4 単位 72時間	全34回
科目概要	実用性重視の文章を書くことを学び、自ら発信する力を伸ばす力を身につけることに 焦点を当て、日本語を運用できる力を習得する。		
到達目標	「書く」を中心に日本語の運用能力向上を目標とする。		
授業計画			
1	第1課 日本人の家を訪問する		
2	第1課 日本人の家を訪問する		
3	第2課 出張の報告をする		
4	第2課 出張の報告をする		
5	第3課 寄り道を提案する		
6	第3課 寄り道を提案する		
7	第1課～第3課 復習		
8	第4課 店で注文する		
9	第4課 店で注文する		
10	第5課 郵便局で荷物を送る		
11	第5課 郵便局で荷物を送る		
12	第6課 不動産屋でマンションをさがす		
13	第6課 不動産屋でマンションをさがす		
14	前期 復習		
15	前期定期試験		
16	定期試験FBと第7課 体験を話す		
17	第7課 体験を話す		
18	第7課 体験を話す		
19	第8課 日本の習慣を話す		
20	第8課 日本の習慣を話す		
21	第9課 パック旅行を申し込む		
22	第9課 パック旅行を申し込む		
23	第7課～第9課 復習		
24	第10課 奨学金についての情報を受ける		
25	第10課 奨学金についての情報を受ける		
26	第11課 温泉に連れて行ってもらう		
27	第11課 温泉に連れて行ってもらう		
28	第12課 しつけについて話す		
29	第12課 しつけについて話す		

30	第10課～第12課 復習
31	後期 復習
32	後期定期試験
33	定期試験FBと第13課 困った出来事を話す
34	第13課 困った出来事を話す
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S+:97-100 S:93-96 S-:90-92 A+:87-89 A:83-86 A-:80-82  B+:77-79 B:73-76 B-:70-72 C+:67-69 C:63-66 C-:60-62  D+:50-59 D:40-49 D-:30-39 E:0-29</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める</p>
教科書名	『日本語集中トレーニング』（アルク）

科目名	日本語レベルアップ	国際科	1 年通年
講師	上村 ひとみ	講義	水曜 4 限
実務経験のある教員 等による指導		4 単位 72時間	全34回
科目概要	「話す」を中心に学び、自ら発信する力を伸ばす力を身につけることに焦点を当て、日本語を運用できる力を習得する。		
到達目標	「話す」を中心に日本語の運用能力向上を目標とする。		
授業計画			
1	第1課 日本人の家を訪問する		
2	第1課 日本人の家を訪問する		
3	第2課 出張の報告をする		
4	第2課 出張の報告をする		
5	第3課 寄り道を提案する		
6	第3課 寄り道を提案する		
7	第1課～第3課 復習		
8	第4課 店で注文する		
9	第4課 店で注文する		
10	第5課 郵便局で荷物を送る		
11	第5課 郵便局で荷物を送る		
12	第6課 不動産屋でマンションをさがす		
13	第6課 不動産屋でマンションをさがす		
14	前期 復習		
15	前期定期試験		
16	定期試験FBと第7課 体験を話す		
17	第7課 体験を話す		
18	第7課 体験を話す		
19	第8課 日本の習慣を話す		
20	第8課 日本の習慣を話す		
21	第9課 パック旅行を申し込む		
22	第9課 パック旅行を申し込む		
23	第7課～第9課 復習		
24	第10課 奨学金についての情報を受ける		
25	第10課 奨学金についての情報を受ける		
26	第11課 温泉に連れて行ってもらう		
27	第11課 温泉に連れて行ってもらう		
28	第12課 しつけについて話す		
29	第12課 しつけについて話す		

30	第10 課～12課 復習
31	後期 復習
32	後期定期試験
33	後期定期試験FBと第13課 困った出来事を話す
34	第13課 困った出来事を話す
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S+:97-100 S:93-96 S-:90-92 A+:87-89 A:83-86 A-:80-82  B+:77-79 B:73-76 B-:70-72 C+:67-69 C:63-66 C-:60-62  D+:50-59 D:40-49 D-:30-39 E:0-29</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める</p>
教科書名	『日本語集中トレーニング』（アルク）